

今西貴大さんを支援する会ニュース

発行
今西貴大さんを支援する会
会長 菅家 英明
日本国民救援会大阪府本部気付
〒530-0041
大阪府北区天神橋1丁目13-15
大阪グリーン会館5F
Tel 06-6354-7215

大阪高裁 虐待冤罪今西事件第2回公判 強制わいせつ致傷事件証人尋問

2023年6月15日、虐待冤罪今西事件の控訴審第二回公判期日が高裁201号(大法廷)で開廷され、強制わいせつ致傷事件の証人尋問(検察側証人2名、弁護側証人1名)が行われました。

弁護側・検察側証人証言の齟齬の大きさもともと皮膚の弱い子・強い外力でなくとも

午前中の法廷では、弁護側証人の皮膚科・肛門科の専門医である佐々木みりの医師が、肛門の傷はA子ちゃんの皮膚がもともと弱かったことが原因で、外力によるものではなかったことを丁寧に証言されました。

午後からの検察側証人の二人の医師は、共通して弁護側の尋問にタジタジする場面も見られ、90余席をほぼ満席にした傍聴者は、弁護側証人と検察側証人の証言の齟齬の大きさに静かに聞き入りました。

閉廷後、「今西貴大さんを支援する会」など支援団体と弁護団は大阪高裁近くにある会場で、記者会見と報告集会を開きました。イノセンス・プロジェクト・ジ

ヤパン (IPJ) のメンバーや多くの学生が参加しました。

報告集会の冒頭、湯浅彩香弁護士から報告がありました。強制わいせつ致傷事件の証人尋問について、弁護側証人の佐々木医師は、肛門の傍に1つの傷が見つ

かったが、異物挿入によるとされる傷は肛門内にはなかった。A子ちゃんは、もともと皮膚の弱い子で、傷の下に浮腫(皮膚の下に水がたまる)があつて、外力、強い力が加わらなくとも皮膚がひび割れる、そういった傷であろうと証言されました。慢性的に皮膚が弱い場合は何回も刺激すると炎症が起きる、そういった傷であること。傷の深さは問

題でなく、慢性的な傷であることが問題だと証言されていたことを説明しました。

続いて、川崎拓也弁護士は、A子ちゃんは左足にギブスを巻いていた、一方の足を投げ出して座り歩きをしていた、そうすることで傷の付近に色々な力が加わった、1回割れてしまう、又、力が加わるので何回も切れてしまつて炎症が続く状況になつて浮腫が起きてしまうことなどをホワイト

公判終了後高裁近くの会場で報告集会 九十席余を埋めた傍聴者四十名以上が参加

報告集会では、湯浅・川崎両弁護士から、証人尋問の報告(記者会見)などを受けた後、集会参加者の意見・感想など、今西貴大さんの無実を確信していると思われる、合計11人の方から発言をいただきました。その発言者の中から、7人の方の発言(要旨)をご紹介します。

今西さんが無実であることを確信した

菅家さん 今回も第2回公判を終わつての報告集会

ボードで図示しながら丁寧に説明しました。その上で、検察側証人の医師二人のうち一人は、結局「その可能性はあるのか」と言ったら、「自分はそうは思わないけど、可能性は否定できない」と証言し、もう一人の証人は、「自分の証言のエビデンスレベルは低い(自身の証言内容について科学的根拠が少なく)」と証言していた」など、尋問内容の詳細を報告されました。

の方がきつちりしていたのではないかなど、思っています。皆さんにご理解して戴いたらなと思ひます、宜しくお願ひします。

あと、拘留が4年以上になります。保釈されて在宅での裁判でいいんじゃないかとの思ひです。本当に拘留が必要なのか、皆さんにも考えていただけたらなと思ひます。

今後もしよろしくお願ひします。(今西貴大さんを支援する会「会長」)

保釈実現に頑張る

川崎弁護士 今、身体拘束の話をしていましたけども、是非保釈になつてほしいと思つていますので裁判の中で、秋田弁護士からもありましたが10月26日(木)と11月30日(木)、証人尋問が決まりましたので、ここで、もう一度しっかりとやって、今西さん本人が皆さんとお会いできるようにもつていきたいと思ひます、頑張りますのでよろしくお願ひします。



菅家さん 今回も第2回公判を終わつての報告集会にご参加いただき有難うございます。弁護団から解説・説明して戴いた通りに、今西さんは無実であるという事は間違いないというように確信しています。記者さんもおっしゃっていたんですけども、検察側証人・弁護側証人、どちらの方が科学的に説明できているかという、弁護側証人

虐待冤罪今西事件

次回公判期日(大阪高裁)

第3回公判(証人尋問) 10月26日(木)

第4回公判(証人尋問) 11月30日(木)

第2回控訴審で傍聴者の多くは、今西さんの無実を確信していました。

「審と違、暖かい空気が…」

湯浅弁護士 今西貴大さん本人のコメントを代読します。

「傍聴席を埋めてくださってありがとうございます。全くいわれのないことをやったと言われてしまって、被告人席に座っていることはとても辛いです。一

もっと勉強して今西事件の事をちゃんと伝えたい

龍谷大学法学部4年生 (女性) 前は法廷には入れなくて、傍聴が出来ませんでした。今回は初めて傍聴させていただきました。とても印象に残ったのが、証人尋問です。検察官と弁護人が連れてきた証人について、尋問によって証言が揺れていくのかと思っていました。でもそうではなく、聞いているうちに弁護側にどんどん傾いて行くと言ふことを目の当たりにして、やっぱりすごいと思いました。今西さんについて語られていることは、いわれがないと強く感じました。

法学部で学んでいる者に

裁判官が検察側の異議申し立てを却下

伊賀さん 皆さん、今日は本当にたくさんの方たちに

審の時から、お尻歩き等の自然な外力が原因ではないかという話が出ていましたが、佐々木先生の尋問を聞いて、より詳しくその事がわかり、自分の中でもしっくりしました。一番の時とは違い、暖かい空気があってとても嬉しかったんです。次回以降もよろしく願います。」以上です。

とっても難しい事件です。

だから、法学を何も知らない人だったら、もっと混乱するし、あんまり理解できないかもしれない。でも、事件に巻き込まれて、これだけ長い間、自由を奪われている現状があるわけだから、私たちボランティアの役割も、もっとあるのかもしれないと思っています。自分自身も、勉強したことをわかりやすく、しっかり伝えて行くことが必要と思っています。

もっと勉強して今西事件のことを、ちゃんと伝えるようになりたいなと強く思いました、以上です。

生もおつしやいましたけど、控訴審でこんなふうな事実調べをきつちりやる、証人尋問を重ねてやるなんてこと、本当に珍しい事なんです。今日の公判の中身を見ていても、圧倒的に弁護団の方が優勢に思いました。弁護側の主尋問による佐々木先生の話は、皮膚科的にも肛門科的にも、傷の原因は皮膚疾患によるもので、異物挿入などあり得ないということが、よく説明されていて、わかりやすかったですね。で、その後に、例えば、検察側証人の山上医師に対する弁護側の反対尋問に、検察官が異議を申し立て、発言を止めようとしてしまったけれど、裁判官は異議を却下しました。まさにケッチンを食らわせたという風に、私には見えました。これは、これまでの経過のなかで弁

これからも支援のほどを宜しくお願いします



護団が頑張ってきたら、今西さんが無罪かもしれないという心証を、裁判官に、この時点で、かなり与えているかなと、とっても心強く思いました。次回公判も、楽しみに待たせていただきたいと思っています。そして、もっともつとこの事件のことをたくさんの方たちに広げたいと思います。ほんとうにお疲れさまでした。(日本国民救済会副会長)

今西さんのお母さん 今日日は皆さん、学生の皆さん、弁護団の皆さん、本当に、朝早くから、傍聴券を貰うために並んでいただき、そして、最後まで、長時間本場にありがとうございました。今、何を話したらいいのか悩んでいます。でも、今日は一番の時と違って、私すごく安心して証人の話が聞けま

すみません、本当に、何を話しているのか、本当に皆さん今日はありがとうございます。これからも支援のほどを宜しくお願いいたします。

関二田を傍聴参加の学生に誘って

反対尋問を見守りたい

笹倉さん 皆さまお疲れさまでした。甲南大学の笹倉と申します。イノセンス・プロジェクト・ジャパン(IPJ)事務局長をしております。今日の傍聴には学生さんが25人以上、講義の合間を縫って傍聴席に関西一円から集まりました。学生たちに今日の素晴らしい反対尋問を見せることができたことは、非常に良かったです。午後の反対尋問を伺っていて、もう無罪判決しかないと確信しました。10月26日と11月30日は、検察官は何を尋問するのかという感じです。弁護団には引き続き頑張ってください、皆様もどうぞ引き続きご支援をお願いいたします。10月26日にもこのように報告集会を開催したいと思いますので、また傍聴席を埋めてください。ありがとうございます。(甲南大学法学部教授)